

故 川野眞次郎元北辰会会長の思い出

前北辰会会長 古城具祐

2017年11月26日、川野北辰会元会長はご逝去されました。84歳でした。お亡くなりになるその朝、最後のお別れをすることが出来ました。ご冥福をお祈りいたします。

2011年6月、言語障害を伴う2回目の大きな大病で6年半の入院生活でした。

私が川野元会長に初めてお目にかかったのは、母校定時制創立五十周年祝賀会行事も終わり、当時の北辰会重鎮の懇親会、「北辰クラブ」へ参加したときでした。25年以上前になります。

当時、川野さんは府立高校教頭先生でした。私は民間の小企業の経営人でした。年齢的にも近く、私が3歳位若く50歳前後で二人共元気一杯でした。北辰会、北野高校定時制を共に誇りに思っていました。



故 川野眞次郎元会長

川野さんはお酒とお話が好きで情熱の人でした。お喋りは、よそでの川野さんは知りませんが北辰会では何時も会話の中心でした。定時制時代の文化祭で、演劇でご活躍されてと聞き納得出来ました。

川野さんはお酒がお好きで北辰会幹事会、卒業式の後などの懇親会では本当に気を置くことなく、飲み、皆さんと歓談されていました。天真爛漫で北辰会は川野さんのオアシスなんだなあと言っていました。事務局の前田君は余り飲ませたらアカン、奥様に叱られると何時も言っていました。残念ですがお酒が病気の引き金になった事は否定出来ません。川野さんなりにセーブしていたのでしょうか。北辰会の会合はそれを忘れさせていたのでしょうか。

赴任先の高校、定年後の短期大学、北辰会でも「閉課程問題」で揺れる中でも、校長時代、「日の丸掲揚」問題でも裁判沙汰になっても信念を曲げることなく貫かれました。

川野元会長の20年間は北辰会興隆期であったと思っています。役員会、事務局、総会、同期会、会報、文集発行など、どれも目を見張るものがあります。土台を築かれました。

私は18期会を足場に幹事、常任幹事、最後は20年間務められた川野さんには及びませんが後を託され会長職を10年務めることが出来ました。北辰会では何時も川野さんの背中をみて歩んでいたと思います。

川野さんはさすが高校の校長を勤め上げた方です。皆様の前での挨拶や文章は卓越していました。私は川野さんのようには行きませんが定時制に対する想いは人一倍あったと自負しています。

2003年からの母校定時制閉課程問題で、北辰会は反対運動での進め方でむつかしい問題を抱えました。その時川野さんは頭を切開するような大病に罹りました。北辰会は会長の意に沿わない運動も展開することになりましたが、会長職を投げ出す事なく最後は従来の和やかな北辰会へ戻されました。

命を掛けたのだと思います。安定した北辰会を見届け私にバトンタッチされました。

私も、会長就任とほぼ同時にガンを患いました。私は隠し通し、川野さんを見習い辞任することなく10年の北辰会会長を務めることが出来ました。川野さんには感謝しています。

私たちも高齢になりましたが岡田多聞北辰会長の下、北辰会で和気藹々楽しめます。

今度は空から好きなお酒を飲みながら北辰会を見守って下さい。

合掌